

箋」を毎号掲載の予定です。また、コラム欄の「熊本を知ろう」(熊本県松橋収蔵庫資料供覧)も、同様の理由で、昨年度で終了とさせて頂いたが、残りのコラム欄を再編いたします。「子育て応援クリニック」(小児科医による解説)(十面)は、読者からの希望が多いとのことで、毎号の掲載といたします。「慈愛の心医心伝心」(女性医療人によるリレーエッセイ)(十一面)はこれまで通り八回(五、六、八、九、十一、十二、二、三月)掲載する予定です。また、「四季の風」(季節の新作俳句)は十一面に移しますが、これまで同様四回(四、七、十、一月)掲載することにいたしました。以上、ご理解のほどお願いいたします。なお本年度も、「あれんじ」に掲載後全ての記事を「肥後医育振興会」のホームページに掲載し、どなたでも自由に読めるようにしております。

「第六回熊本県医療人育成総合会議」の開催予定

副理事長 山本 哲郎

テーマ…「病院等における学生の臨床実習の現状と課題について」

医療人育成において、病院をはじめとする医療施設等での臨床実習は必要不可欠であり、文部科学省も国民に安全で安心な医療とケアが提供できる学生の実践能力育成を重要な教育目標としています。しかしながら、医療の高度化、複雑化、在院日数の短縮化により、多くの患者が短期間で転院あるいは在宅医療へと移行し、学生たちは臨床実習において、必要とされる医療を十分に時間をかけて学習する機会が減ってきています。このような現状は医療スタッフに多忙な日常をもたらし、学生に細やかな指導を行うこと

が困難になってきています。また、患者家族のプライバシー保護や医療事故防止の強化、患者が十分な医療を能力のあるスタッフから受ける権利を有することから、資格を有していない学生たちは、実習が行いづらくなってきています。さらに医療系教育機関が増えてきたことから、個々の教育機関にとっては実習できる病院が少なくなっています。

そこで、今回、熊本における医療人育成のための臨床実習教育において、①大学、短大、専修学校修了時に必要とされる実践能力、②医療機関と教育機関の連携、③効果的な実習指導と教育技法、④実習指導者の育成、⑤シミュレーション教育の体系化等の視点から、現状と課題について論じ、効果的な臨床実習教育システムの構築に取り組むこととしました。実施日時…平成二十七年十一月二十一日(土)午後一時三十分から四時五十分まで

実施内容… 司 会 熊本大学医学部医学科長 安東由喜雄氏

講演一 熊本大学大学院生命科学研究部 教授 宇佐美しおり氏
医療人育成における病院実習の位置づけ

講演二 文部科学省高等教育局医学教育課 課長補佐 島居剛志氏
熊本大学医学部医学科における臨床実習の現状と課題

講演三 熊本大学大学院生命科学研究部 附属臨床医学教育研究センター 准教授 古川 昇氏
看護教育における臨床実習の現状と課題

講演四 熊本保健科学大学保健科学部 看護学科 教授 竹熊千晶氏
理学療法士教育における臨床実習の現状と課題

九州看護福祉大学看護福祉学部リハビリテーション学科 准教授 永崎孝之氏
講演五 臨床実習病院における臨床実習の現状と課題
熊本大学医学部附属病院 看護部長 本 尚美氏

講演六 地域病院における臨床実習受入に係る現状と課題
国保水俣市立総合医療センター 病院事業管理者 坂本不出夫氏

総合討論(司会者は同上)
参加募集対象者
医学・医療技術関連の大学や専修学校における教育・運営などの担当者、各医療技術専門家協会の後継者育成担当者、医療・保健行政担当者、一般の希望者

平成二十七年医学研究会・研修会等への助成を行う

平成二十七年度は、次の九件の研究会、研修会等に助成が決定しています。
・熊大病院群卒後臨床研修プログラム研修医育成事業
四月一日〜三月三十一日

- ・第三十九回国立大学アイソトープ総合センター長会議及び実験動物分子イメージング研修会 六月三日〜四日
- ・第三十一回熊本医学・生物科学国際シンポジウム 九月十四日〜十五日
- ・第十五回熊本大学医学部医学科医学教育ワークショップ 八月二十九日
- ・日本遺伝看護学会第十四回学術大会 十月十日〜十一日
- ・平成二十七年国立大学附置研究所・

平成二十七年(第二十回)肥後医育振興会医学研究助成を行う

平成二十七年(第二十回)肥後医育振興会医学研究助成金授与候補者の選考が、平成二十七年八月三十一日に肥後医育振興会助成選考委員会において行われました。

平成二十七年の助成選考委員会は、それぞれの所属機関から推薦を受けた次の七名です。熊本大学大学院生命科学研究部からは伊藤隆明教授(基礎系)、興招博次教授(臨床系)、大塚雅巳教授(薬学系)、大坪和明教授(保健学系)が、センター系からは熊本大学エイズ学研究センターの上野貴将准教授、熊本県医師会から江上寛理事(宇城総合病院院長)、関連病院からは熊本市民病院の津田弘之副院長で構成され、互選で伊藤隆明教授が委員長となつて、応募者ひとり一人について公正且つ厳正な選考が行われました。

医学研究助成金の応募者は、熊本大学大学院生命科学研究部から五名、同医学部附属病院から四名、同発生医学研究所から一名、同エイズ学研究センターから一名、同国際先端医学研究機構から一名、熊本保健科学大学から一名の計十三名であり、その中から次の五名が授与候補者

- センター長会議第二部会シンポジウム 十月三十一日
- ・国際力動的心理学法学会第二十一回年次大会 十一月六日〜八日
- ・本九祭(医学展) 十月三十一日〜十一月一日
- ・蕃滋祭(薬学展) 十月三十一日〜十一月一日